



学校だより

<http://www.keyaki-sh.spec.ed.jp/>

12月号

令和元年12月2日発行

埼玉県立けやき特別支援学校
048-601-5531

特別支援教育コーディネーターの役割

本校には3名の特別支援教育コーディネーターがいます。コーディネーターの主な仕事は病気や障がいのある子どもたちが、安心して学校生活を送ることができるようにすることです。そのために様々な職種の方々と連携しながら子どもたちのサポートをしています。



児童生徒が2週間以上の入院となり、主治医より就学申込書が出されたときには病棟と連携し、就学相談（転校の手続き）を行います。そこでは病気についての不安や転校の不安などを聞き取り、スムーズに転校ができるようにサポートします。また、入院治療中も授業を進めながら本校の担任の先生と共に、入院中や学習、復学の不安に寄り添います。必ずチームで子どもたちの不安を共有し、支えられるようにしています。そして退院がみえてくると担任の先生と共に復学に際し不安なことを整理して前籍校に伝えられるようにします。退院前には主治医と連携して、安心して戻ることができるように復学先の学校に病気の理解や生活上の配慮事項について確認を行います。退院後も、復学先の学校の先生や保護者に学校での様子を聞き、進級や進学の時にも相談を受けて支援をしています。

特にいま、力を入れていることはICTを活用した復学支援です。子どもたちは長い入院生活の中で「復学する前に友だちにあいさつしたい!」「私の席はどこにあるの?」「クラスの雰囲気はどうか?」「ひさしぶりすぎてどうしていいかわからない」など、たくさんの不安を抱えています。1つの事例ですが、退院する前に双方向通信を使ってお子さんと地元校をつないだことがありました。初めは、緊張して表情も暗かったお子さんもあいさつをしたり、会話したりすることで、笑顔が出て安心した様子が見られました。最後の地元校の友だちの「待ってるよー!」の言葉は、復学する子どもにとって力になる言葉であったと感じています。



復学にはいろんな方法があります。一緒に考えていきましょう。

12月の行事予定



- 5日(木) テレビ東京出張授業
- 13日(金) 小3社会科見学(さいたま市立博物館)
*6時間授業 5限:月曜の2限 6限:月曜の1限
- 18日(水) 授業参観、学級懇談
- 24日(火) 第2学期終業式 12:15下校

○12月13日は短縮日課の予定でしたが、9月9日台風による臨時休業の授業補充日となりました。全学年6時間扱い(15:15下校)となります。



小学部：スキップシティに行きました

11月22日（金）、小雨の降る中ではありましたが小学部の校外学習に行ってきました。場所は川口市にあるスキップシティです。そこで、映像ミュージアムやサイエンスワールド、くらしプラザの見学と体験学習を行いました。

子どもたちは朝からハイテンション！久しぶりにバスに乗った子ども車外の様子を楽しみながらの移動でした。到着後、すぐに体験したのが「空とぶジュータン」。映像の加工により、自分たちが空とぶジュータンに乗っているかのような気分を味わえました。企画展示は映画の歴史についてお話を聞きました。お昼は病院の栄養部から、みんなの好物のから揚げ弁当ができました。おやつまでついで、大満足です。午後は、科学館見学と工作の体験学習、くらしプラザでクイズ体験もありました。マスコットキャラクターのくらしーはユーモアがあり可愛かったです。帰りのバスではぐっすり眠る児童も多く、充実した校外学習になりました。

本物のレジを操作

中学部：職業体験に取り組んで

11月7日、小児医療センター2階のセブンイレブンでの職業体験を実施しました。“いろんな職業を体験することで心身ともに成長し、将来の就業に役立つ”そんな理念の下、中学部では年1回職業体験を実施しています。今年度は19名の生徒が、縦割りで3つの班に分かれ、1班ずつ時間差の実施。待機する2つの班は、校内で職業適性検査や質問を考える学習に取り組みました。

ロールプレイにより、体験時にどんなことに気を付ければ良いかを学んで臨んだ模擬店員。エレベーターでは緊張の様子だった生徒も、店内でマネージャーの説明を聞くうちに表情が緩む。すると質問が。「セブンで、1番売れている品物は？」「セブンの店員のお給料は？」などなど。テレプレゼンスロボット（以下 PADBOT と略）もそんなみんなを見つめている。店内を案内されると笑顔がのぞく。PADBOT も、ベッド学習の仲間の思うままに店内をあちこち。

いよいよ店員としての仕事。レジ打ちや接客（いらっしゃいませ、の声かけ）。みんな生き生きとした表情。車いすの生徒たちは、レジ打ちを横目に、「いらっしゃいませ」の掛け声。見慣れない生徒たちの「いらっしゃいませ」の声に、びっくりして一瞬後ずさりするお客さんや「今日は何かあるんですか？」と聞くお客さん。「職業体験なんですよ。」と伝えると、「頑張ってくださいね」のねぎらい。そんな触れ合いに、一層大きくなる掛け声。お客さんとしての校長先生や保健室の先生には、特別な計らいで、なんと本物のレジ打ち。生徒の表情が一段と引き締まる。見ている生徒は「いいなあ」。PADBOT もそれを見てうらめしそう。しかし、そんな楽しい体験もあっという間に終了。最後は、大きな声で「ありがとうございました。」と挨拶すると、店長さんから『本日の仕事の対価』としてお菓子のプレゼントがあり、みんな満面の笑顔。視聴覚室に戻ると、「レジ打ち楽しかった」「またやりたい」などの感想。みんなを一回り大きくさせる体験であることを願いつつセブンの方に本当に感謝。ありがとうございました。後日、生徒たちが心を込めて書きあげた手紙を届けると、店長さんが大喜びで、封筒をしっかりと握りしめてくださいました。

これが PADBOT

